



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成29年(2017年)
1月11日
水曜日
第182号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

『地域の子供は、地域の大人が育てる』 「子供・若者育成支援強調月間 静岡県大会in磐田」を開催しました。

静岡県では、11月を「子供・若者育成支援強調月間」と定め、県民の皆さまが「地域の子供や若者たちのためにできること」を考え、行動するきっかけとなるよう、毎年「子供・若者育成支援強調月間静岡県大会」を開催しています。

本年度は、11月19日(土)、磐田市竜洋なぎの木会館を会場に、県と磐田市とで共同開催しました。参加者は650人を超え、笑顔と元気が溢れる大会となりました。

【第一部】 磐田市青少年健全育成大会(磐田市主催)

磐田市内で地域のためになる活動に地道に取り組む子供・若者や指導者の方々を表彰しました。

市内中学生代表が司会進行を務め、同じく中学生による「わたしの主張」の発表や広島平和記念式典参加報告、さらには磐田市立竜洋中学校弦楽部・吹奏楽部によるオーケストラ演奏などが行われ、地域の子供たちが大会を大いに盛り上げてくれました。

【第二部】 子供・若者育成支援シンポジウム(静岡県主催)

静岡県出身のタレント勝俣州和さんをゲストに迎え、静岡市在住の元アナウンサー橋本恵子さんを進行役として「子・親・地域...『関わり合い』は『育ち合い』」をテーマに、トークショー・トークセッションを行いました。

トークショー「勝俣州和の笑顔で子育て」

大家族で育った子供時代のお話や、2人の子供を持つ父親として心掛けていることなど、テレビのバラエティ番組ではなかなか聞けない勝俣さんのお話に、参加者もすっかり引き込まれていました。



トークショー「勝俣州和の笑顔で子育て」

「子供が生まれて7年間、毎日朝ごはんを作り続けた」「子育て中に読んだ本から『教師や親が常に正しいと思っていることが一番の間違いであること』を学んだ」など、さまざまなエピソードを交えながら、家族で力を合わせ、子供と一緒に物事を考えていくことの大切さを訴えました。

トークセッション

木苗直秀県教育長、村松啓至磐田市教育長も参加したトークセッションでは、地域での子育てについて話し合いました。「時代の変化や子供の変化に合わせて、大人も変わっていく必要がある」「教師、保護者、地域の大人も、子供たちからたくさんことを教わっている」など、大人が積極的に子供と関わり、人とのつながりを大切に教育を地域全体で創り上げていくことの重要性を、会場全体で共有することができました。



トークセッションの様子

【社会教育課】

- ・ 依頼者(学校等)と指導者の面接への立ち会い
 - ・ 活動開始後の依頼者と指導者(学校等)との相談窓口
 - ③「信頼できる指導者」
 - ・ 県体育協会や競技団体の推薦
 - ・ 日本体育協会等の公認指導者
 - ・ 教員免許保有者
 - ・ 登録認定研修会の受講者
- などの認定条件を定め、条件を満たした信頼できる指導者のみが登録されています。さらに、研修会を実施することにより、指導者のスキルアップを目指します。
- 【問(公財)静岡県体育協会】
054(265)6464
054(262)3019
- 【健康体育課】

皆さまには新春を迎え、気持ちを新たに、それぞれの目標に向かって始動されていることでしょう。昨年には熊本地震、鳥取県中部地震をはじめ、台風や大雨等の自然災害が日本各地で発生し、自然の脅威を改めて感じた年となりました。一方、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは日本選手が大活躍し、多くの国民に勇気と感動を与えてくれました。また、校、家庭、地域、企業との



年頭の「ごあいさつ」 静岡県教育委員会 教育長 木苗直秀

国内では本県の小中高生がスポーツや文化活動において好成績を挙げられ、多くの団体等から表彰されたことを大変うれしく思っております。

静岡県では「富国育徳の理想郷『ふじのくに』づくり」を県政運営の基本理念に掲げており、静岡県教育委員会では「有徳の人」づくりを積極的に進め、「文・武・芸」三道の鼎立の実現を目指しています。昨年4月に幼児教育センターを開設し、幼稚園、保育所、認定こども園間の連携、小学校との接続を円滑にする体制ができました。今後はさらに、学

校、家庭、地域、企業との連携と絆を強め、「チーム学校」の活動を積極的に支援していきたいと考えております。教育委員と共に県内の小中高等学校や特別支援学校、市町教育委員会などを訪問する「移動教育委員会」を年10回ほど開催しています。この「移動教育委員会」では、市町教育長、教育委員、校長、教職員、保護者、学校評議員など、学校に関わる皆さまと懇談を行っています。時には子どもたちと一緒に給食を食べたり、高校生とは意見交換を行ったりするなど、とても有意義で楽しいひとときとなっています。ICT教育や英語教育を実践する現場にも出掛け、実際に学ぶ児童生徒の姿を見て、その必要性、重要性を痛感しております。

昨年7月には各家庭に向けた「Eジャーナルしずおか特別号」を初めて発行し、学校の様子や教育委員会からのお知らせを直接保護者の皆さまにお届けすることができました。この中で、特集記事として、家庭学習支援をサポートするチャ・アツプコンテンツや家庭教育支援員などについて紹介し、家庭教育の在り方について、各家庭と連携を図るきっかけになったものと思っております。

また、県民の皆さまから頂きました浄財を元に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を立ち上げ、高校生や教員の海外研修への支援を始めました。さらに、大学や企業と連携した新しい地域スポーツクラブを推進する取り組みも進められています。

また、県民の皆さまから頂きました浄財を元に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を立ち上げ、高校生や教員の海外研修への支援を始めました。さらに、大学や企業と連携した新しい地域スポーツクラブを推進する取り組みも進められています。

生へのスポーツ活動を支援する取り組みを進めております。ところで、教育界では、不登校の児童生徒への対応、経済格差に由来する教育格差等が大きな課題となっております。また、教職員の多忙化の解消、不祥事の撲滅なども緊急課題です。いずれの問題に対しても積極的に解決策を求めていきたいと考えておりますので、教職員の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、県民の皆さまから頂きました浄財を元に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を立ち上げ、高校生や教員の海外研修への支援を始めました。さらに、大学や企業と連携した新しい地域スポーツクラブを推進する取り組みも進められています。

また、県民の皆さまから頂きました浄財を元に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を立ち上げ、高校生や教員の海外研修への支援を始めました。さらに、大学や企業と連携した新しい地域スポーツクラブを推進する取り組みも進められています。

また、県民の皆さまから頂きました浄財を元に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を立ち上げ、高校生や教員の海外研修への支援を始めました。さらに、大学や企業と連携した新しい地域スポーツクラブを推進する取り組みも進められています。

スポーツ 人材活用推進事業 しずおかスポーツ人材バンク



スポーツ指導者の活動の様子

「しずおかスポーツ人材バンク」
3つの特徴

- ①HPで検索
- ②「コーディネーター」の配置
- ③「信頼できる指導者」の推薦

「しずおかスポーツ人材バンク」は、平成29年4月に本格運用を開始する予定です。そのため、現在、高等学校の運動部活動等における外部指導者の登録・マッチングについて検証しています。今後は、部活動での技術指導に限らず、スポーツ医学、科学の専門的知識を持つスポーツサポーター(指導者)の登録・派遣も開始していきます。

実践NOTE 363

「個の力が高まる授業づくり」を目指して

富士市立青葉台小学校 教諭 中村公彦



授業中の筆者

振り返りを定期的に行い、習得具合を確認したりしています。

教材の特質に応じた手立ての工夫

このように、ステップカードの活用を通して授業の土台作りを行っています。特に、「いいざわざわ感を出す」(聴き方、学習用語を使いながら、短く切って説明する「結論を先に言ってから話す」(話し方、「思考の見える化を図る」(書き方)ことを大切にしています。

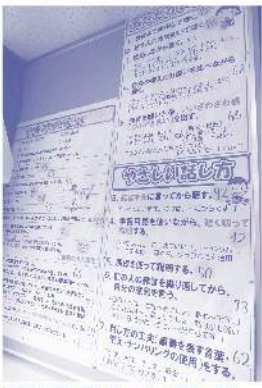
★学習計画書の活用

毎時間の学習課題を載せた学習計画表を活用し、一人一人が見通しを持つことで、目的意識が高まり、先を見据えて学習に取り組むことができます。本単元では、6年生が1年生にファンタジー作品を書き、読み聞かせをする

本校は「個の力が高まる授業づくり」を聴いてつなげて考え 伝えます」という研修テーマの下、「学び方の手立ての工夫」と「教材の特質に応じた手立ての工夫」を2本柱として、付けさせた

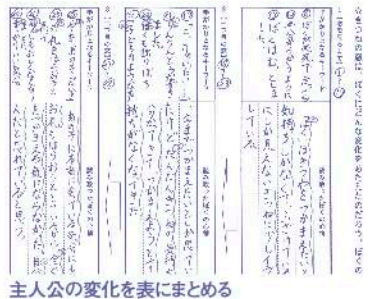
学び方の手立ての工夫

授業づくりで中心的な役割を担っているのが、ステップカードです。子どもに身に付けさせたい「あたたかい聴き方」や「やさしい話し方」(わかりやすい書き方)を段階的に表したステップカードを作成し、目指す子どもの姿やその手立てを教師の中で共有しています。子ども用のステップカードも作成し、教室に掲示して授業中に活用したり、



教室に掲示したステップカード

しながら書き込みを行いました。そして、そこから主人公の変化を表すキーワードを絞り込み、自分が読み取った変化を表にまとめた後、全体で話し合っていました。



主人公の変化を表にまとめる

一人学びの段階で、書き込みだけではなく表にまとめたことで、読み取りの根拠が明らかになり、言葉にこだわった深い読みにつながりました。

「守破離」を参考に

研修を進める中で注意していることは、型に捉われすぎないことです。剣道や茶道で使われる用語に「守破離」という言葉があります。「守」は型を守り、確実に身に付ける段階、「破」は他のものでも良いものは取り入れ、発展させていく段階、「離」は一つの型から離れ、独自のものを生み出し、確立していく段階を表しています。

はじめに



歯科指導をする筆者

本校の保護者は、子どもの健康に対する意識が高く、規則正しい生活、ハシカチ・ティッシュの携帯、歯磨きの習慣、感染症の予防、病気の治療等、子どもの健やかな成長のため、家庭の役割を果たしてくれています。

実践NOTE 364

受け継がれてきた 歯科指導

静岡市立伝馬町小学校 養護教諭 朝比奈 昭枝

これは、永年の歯科指導と家庭との連携の成果と言えると思います。

3分間の歯磨きの定着

給食後は歯磨きタイムを設け、各学級で実施しています。子どもの成長段階に合わせ、低学年では音楽をかけ、着席して一斉に行っています。高学年では給食が終わった子から実施しています。歯磨きタイムは、必ず3分間行う事を約束として、丁寧な歯磨きを実践しています。

継続的な歯科指導

本校は、昭和33年の歯牙健康優良校をはじめ、健康優良校等を幾度となく受賞するなど、子どもたちの健康のため継続的な取り組みを行ってきました。現在も世代を超えた歯科指導が受け継がれています。



4年生の歯科指導の提示資料

年2回実施している歯科検診では、虫歯が大変少なく、虫歯が見つかったとしても治療率が高い状況です。

う成長段階に合わせた指導案を作成し、視覚に訴える提示資料を用いて指導しています。

学年	指導内容
1年	6歳臼歯の磨き方
2年	前歯の磨き方①
3年	前歯の磨き方②
4年	前歯と小臼歯の磨き方
5年	自分の歯並びにあった歯の磨き方
6年	歯肉炎の予防

本校は、平成10年度からオーストラリアの小学校と国際交流を続けています。昨年の来校時には、オーストラリアの子どもたちにも歯磨き指導を行いました。歯垢の染め出しを、初めての子どもたちにも実施しました。子どもたちは初めての指導に緊張しながらも染め出しの結果に歓声を上げ、楽しんで歯磨きができました。中には、磨き残しを確認するオーストラリアの子どもの姿も見られました。



磨き残しをチェックするオーストラリアの子

国際交流の歯みがき指導

指導で使った歯垢の染め出し結果表は、各自家庭に持ち帰り、保護者に見てもらい、感想を記載してもらっています。

生涯健康な歯を守るため

子どもたちに、高齢者には歯肉炎や歯周病で歯をなくす人が多いことを話すと大変驚きます。それは、歯の健康について意識の高い本校の子どもの中には考えられないことなのだと思えます。

本校の学校保健教育目標「自分の心身の健康に関心を持ち、自ら進んで健康づくりに取り組む子」は、生涯健康な歯を持ち続けることができたときに達成されるのだと考えています。

今後も継続指導で子どもたちの生活習慣を確立させ、目標の達成を目指したいと思います。



昨年度の優秀作品展の様子

芸術祭 2016

美術展・書道展・写真展のいいとこどり!! 「美術部門優秀作品展」

昨年9月11日に開催され、大好評のうちに終了した、ふじのくに芸術祭2016の美術展、書道展、写真展における入賞作品と招待作品(前年度の静岡県芸術祭受賞者による新作の出品)を集めて展覧します。会場はJR沼津駅から近く、大型駐車場のあるショッピングセンター内にあり、入場は20時まで可能です。学校・仕事帰りに気軽に立ち寄りください。

- 日時 1月11日(水) 16時～20時(最終日は10時～20時)
- 会場 イシバシプラザ 4階ホール(沼津市高島本町)
- 入場料 無料
- 問文化政策課 054(221)2254

人権教育の視点からの授業づくり 研究指定校の取り組み紹介



「三中学生スタンダード」を意識した授業

大規模校である沼津市立第三中学校は若手教員が多く、教職員の異動も多い学校です。そこで、「人権教育の視点からの授業づくり」を受け継いでいくために「三中学生スタンダード」という教師が授業で意識する授業スタイルを作り上げました。ポイントは「生徒自身が①課題を把握する②自力で考える③交流する④振り返り、学んだことを実感する」の4点です。

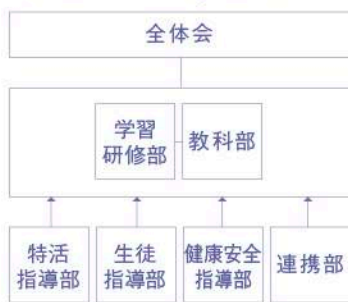
研究発表会の3つの研究授業(数学科・道徳・※言語科)においても、これらのポイントを意識して

実践し、生徒一人一人を大切に授業を展開していただきました。

沼津市は、平成18年度に言語教育特区に認定され、全小中学校で「言語科」を実施。

授業づくりの重点を置いた組織改編

「人権教育」の研究を進めるに当たり、それまで並列の関係にあった3つの指導部(特活指導部・生徒指導部・健康安全指導部)を



成果(アンケート結果・教職員の変化)

生徒対象の人権教育に関するアンケート調査では20項目のうち、「仲間との協力」や「自他の大切さ」などの項目で人権意識の向上が見られました。

また、教職員の言動にも変化が出てきました。これまで以上に、生徒に対して丁寧な言葉を遣い、生徒の作品を大切に扱った掲示を心掛けるなど、生徒に敬意を持つ接する場面が増え、生徒に寄り添う姿勢がより多く見られるようになりました。

最後に

沼津市立第三中学校の実践は、1月20日開催の人権教育指導者研修会(会場・グランシップ)で発表されます。県内の各学校でも人権教育研究指定校の取り組みを参考に、人権教育がさらに充実したものになることを期待しています。

【教育政策課人権教育推進室】

財務課での実務研修

静岡高等学校 主事 中澤修斗



筆者

物の個別施設計画を進めるための基礎資料となる教育施設カルテの作成業務でした。教育施設カルテとは、面積、建築年月日、外壁工事の履歴、外壁の仕上げ材、耐震基準、構造耐久性基準、トイレの個数など、棟ごとのさまざまな情報を集約したものです。病院で、患者一人一人のカルテがあるように、教育施設カルテも各所属の棟ごとに作成します。今後このカルテの情報を基に施設の長寿命化整備指針が策定される予定

貴重な経験!

施設担当は学校と違い、出張が多く、私もいろいろな学校へ行くことができました。異動経験のない私にとっては、他の学校に行くことが新鮮でした。また、平成29年4月に開校予定の西部特別支援学校の完成検査にも立ち会った貴重な経験です。

常々貴重な経験をすることができました。

私の担当は、県有建築

教育施設カルテ作成!

私は、平成28年10、11月の2カ月間、財務課教育施設班施設担当で県立学校事務職員実務研修を受けました。

研修を終えて!

予算関係・会計検査等の業務で財務課の方々とは忙しいそうでした。しかし、忙しさの中にもやりがいや楽しさがあることを学びました。私自身も施設の長寿命化計画に携わることができ、やりがいを感じることができました。

財務課の方々の仕事をしている姿はとてまもなく、短い間でしたが、財務課の一員として一緒に仕事ができたことが私の中で大きな財産になると思います。

この経験を生かし、これから立派な事務職員に成長していきたいです。ありがとうございました。

「子どもアート体験」実施校募集開始

アーティストが学校にやってくる!

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、県内の児童生徒の皆さんに多彩な芸術を鑑賞・体験する機会を多く持つていただき、またグランシップの活動を知っていただくために、県内各地の小中学校等に出向き、国内外のアーティストによるミニコンサートによるミニコンサートやワークショップなどを、多彩なプログラムを、多岐にわたります。

29年度も、海外の一流音楽家による出前コンサート、人形浄瑠璃音楽座による文楽の実演や人形遣い体験、能楽や講談などの伝統芸能体験、グランシップ登録アーティストによるミニコンサートなど、多彩なプログラムをご用意しています。

募集概要は県内すべての小中学校、特別支援学校に1月ごろより順次お送りします。

各学校の状況に合わせてオリジナルの内容が提供

オリジナルの内容が提供

オリジナルの内容が提供

オリジナルの内容が提供

子どもたちの資質・能力を育むために ～長期研修員研修報告会を開催します～

近年は、グローバル化の進展や人工知能(AI)の飛躍的な進歩など、社会が急速に変化しています。このような社会に対応し、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子どもたちに育む学校教育の実現が求められています。

学校教育の質を向上させるために、6人の小・中学校教員が、学校現場を離れ、1年間研究を深めてきました。3月1日に、その成果を報告します。教育活動の質をさらに高めるためのヒントにいただければ幸いです。

発表内容

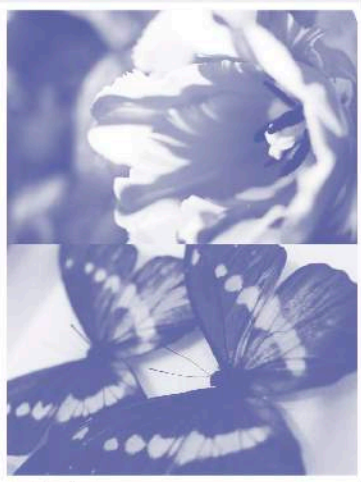
研修員(所属校)	研究主題-サブテーマ
八ツ木 詠美子 (富士市立富士第一小学校)	授業改善を促す校内研修の在り方 -Actionの取組を充実させたPDCAサイクルの構築-
池田 倫子 (湖西市立鷺津中学校)	中学校の知的障害特別支援学級担任の授業力向上を目指して -新任特別支援学級担任の実践に役立つ授業モデルの提案-
鈴木 秀司 (長泉町立北中学校)	自分の考えや思いを安心して発言することができるための効果的な指導・支援の在り方 -教育相談的なかわりを通して、学級集団の「聴く」を育む手立ての工夫-
鎌田 輝美 (磐田市立岩田小学校)	学校と地域との連携・協働の推進を目指して -A市における地域とともにある新しい学校づくりから-
山田 聡 (三島市立山田中学校)	「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び」に係る研究 -運動有能感が高まる単元構想の工夫-
近藤 聖広 (焼津市立港小学校)	「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び」に係る研究 -意思決定を取り入れた授業づくり-

■開催日時 平成29年3月1日(水) 午後1時15分から4時まで
 ■会場 県総合教育センター 大研修室
 ■申込方法 2月に各小・中学校に配布する参加申込書に記入の上、FAXで申し込んでください。申込書様式は、総合教育センターホームページからもダウンロードできます。
 ■申込期限 平成29年2月10日(金)
 申・問 県総合教育センター専門支援課研修班
 ☎0537(24)9720 ☎0537(24)9727 HP http://www.center.shizuoka-c.ed.jp

静岡県立美術館企画展 蜷川実花展

現代日本を代表する写真家で、さまざまな分野で表現活動を行う蜷川実花。移ろいゆくものへの鋭敏な感性に支えられ、夢のように美しく鮮やかな色彩で創り上げられた世界は、幅広い層から支持を受けています。加えて、華やかさの陰にある暗部にも敏感に反応し、生の本質に迫る強靱さも持ち合わせています。新たな領域にも切り込む蜷川の世界を紹介いたします。

■会期 平成29年2月1日(水)～3月26日(日)
 ■開館時間 午前10時～午後5時30分(入室は5時まで)
 ■休館日 毎週月曜日
 (ただし3月20日(月・祝)は開館、翌21日(火)休館)
 ■観覧料 一般1,200円、高校生・大学生・70歳以上600円、中学生以下無料
 ■交通案内 JR草薙駅から静鉄バスで約6分県立美術館バス停下車



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

総合教育センター
おひなろ Angle

「国語の勉強が好き」という意欲や態度を育む

国語科の課題

文章と図、表を関係付けて分かったことや自分の考えを簡潔にまとめること。

複数の資料から適切な情報を得て、根拠を明確にして自分の考えを具体的にまとめること。

今年度の全国学力・学習状況調査で課題となったこれらの力は、国語科の授業で身に付け、実生活や各教科等の学習で活用することにより、確実な力となっていく。また、数年前から大きな課題となっているのは「国語の勉強が好き」の数値が全国平均を下回っていること。

教科横断的な視点

全国学力・学習状況調査の国語科の問題の中で、「将来やりたい職業について主体的に調べる」社会科の学習場面や、「日常生活で読んだ雑誌の記事についてより深く調べる」実生活の場面が設定されています。この問題に登場する子どもは、文章と図を関係付けたり、複数の資料を根拠にした

とめていきます。これは、国語科の授業で身に付けた言語能力をさまざまな場面で活用している理想的なモデルといえます。

国語科の授業を教科書の教材だけに閉じてしまっているのではなく、教科横断的な視点を持ち、子どもと共に国語科の授業を広く捉えていきましょう。

学習の目的と付けた力の明確化

単元構想の際には、楽しい活動を子どもに経験させよう、と考えがちですが、付けた力を押さえた上で、適切な言語活動を位置付けましょう。子どもに目的意識を持たせ、主体的な学びを引き出し、評価することが重要です。

調査を生かして

冒頭に挙げた課題をすぐに解決できる魔法はありません。調査の結果や問題そのものを十分に生かし、授業改善につなげましょう。国語科で身に付けた言語能力を、実生活や各教科等の学習で活用し、自分の考えをまとめたものが相手に適切に伝わったときに、国語科の学習が役に立つと実感できるはず。それが「国語の勉強が好き」という子どもが意欲や態度を育むことにつながると考えます。

焼津の街や山をのんびり歩いてみませんか 焼津さわやかハイキング～歩かざあ、焼津～参加者募集

「山登りを始めてみたい」と思っている方に、ぴったりのイベントの紹介です。1日目は、焼津の街を散策し、焼津の風物に触れます。「ふれあいパーティー」では、楽しい雰囲気の中で、参加者同士の親睦を深めます。2日目は、高草山に登ります。標高500m程度で、歩道も整備されているため、安心して山登りを楽しむことができます。志太平野や駿河湾の美しい景色も一望できます。個人でも、家族でも、友達同士でも、小学生から年配の方まで、どなたでも参加することができます。詳しくは、ホームページをご覧ください。



家族や仲間とゆったりすごそう 第2回観音山ファミリーDAY

今回は、3つのスペシャルプログラムを企画しています。1つ目は「紙」をテーマにしたプログラムです。紙すき体験に加え、和紙を使ったランプシェード作りなどを行います。和紙を使った自分だけの作品をお土産にできますよ。2つ目は星座観察です。満点の星空を見上げ、神秘的な時間を過ごすことができます。3つ目は、火起こしと飯ごう炊きです。自分たちで火を起し、飯ごうでご飯を炊きます。観音山名物のカレーをかけて召し上がれ。他にも、2日間たっぷり楽しめる企画が待っていますので、ぜひ家族や仲間、気持ちの良い春の観音山に遊びに来てください。



考古学技術体験参加者募集のお知らせ

「考古学技術体験」を開催します。普段はちょっとできない、出土文化財の保存処理を体験してみませんか。

■日程
〈入門編〉平成29年2月9日(木)
出土品を後世に残す技術を分かりやすく解説します。
〈実技編〉①平成29年2月16日(木)
②平成29年2月23日(木)
木製品の保存処理・修復作業を体験します(①と②は同じ内容です。どちらか1日の受講となります)。

■場所 静岡県埋蔵文化財センター (静岡市清水区蒲原5300-5)

■時間 14:00～16:00

■定員 20人(実技編は①②とも10人ずつ)

■申込 入門編と実技編2回セットでの申し込みとなります。電話・FAX・Eメールにて住所、氏名、連絡先をお伝えください。

■申込期限 平成29年1月27日(金)

■その他 応募者多数の場合は抽選を行います。(抽選の結果は電話・FAX・Eメールにてお知らせします) ※参加費無料



県立中央図書館のすすめ情報

健康医療情報講演会開催
当館では、「自己啓発」と「大人の読書」をキーワードとする図書館講座「葵レク」を開催しています。今回は「大腸がんの予防から治療について」と題し、健康医療情報講演会を開催します。

健康医療情報コーナー
当館の「健康医療情報コーナー」では、来館者の皆さんが自分の健康や身体のことを調べられるようさまざまな情報を発信しています。当コーナーの一部をご紹介します。

健康や医療をめぐるさまざまなテーマの本を月替わりで展示し、関係する資料のリストを作成しています。1月のテーマは「心筋梗塞・脳梗塞」です。がん関連資料の提供が、がん全般に関するものや、胃や肺、婦人科などの各がんについて、医学的な根拠(エビデンス)に基づいた資料をそろえています。

図書館では、資料の提供はできませんが、特定の医師等の紹介や医療上のアドバイスはできません。さらに医療情報は更新スピードが速く、最新の資料が提供できるとは限りませんので、医療関係者との相談をより円滑に行う材料としてご利用ください。

「子どもたちの楽しい学校生活を支えたい」という志を持って、社会人のスタートを切ったことを思い出しました。「シャー!!!」今年も、がむしゃらにがんばりますので、よろしくお願いたします。(わ)

「子供若者育成支援強調月間静岡県大会(一画)」に行ってきました。中学生の発表や演奏、勝俣州和さんのトークショーを聞いて、

GRAMSHIP Sing Sing Sing

2017.2/4(土) 14:00～17:00 (13:15開場)

会場/グランシップ 大ホール・海 入場料:前売り400円(当日500円) ※小学生以下無料、入退場自由

静岡県内の高校吹奏楽部によるジャズフェスティバル。各校で趣向を凝らしたステージも注目です。高校生たちによるフレッシュな演奏をお楽しみください。

■出演校(五十音順)
静岡県立科学技術高等学校吹奏楽部
静岡県立静岡東高等学校吹奏楽部
静岡県立天竜高等学校・春野校舎・静岡県立佐久間高等学校吹奏楽部
静岡県立浜松北高等学校吹奏楽部
静岡サレジオ中学校・高等学校 "The Musical Spiders -SSJB-"
静岡市立清水桜が丘高等学校吹奏楽部
招待演奏:早稲田大学ハインソサティ・オーケストラ

【お問い合わせ】グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000 (営業時間10:00～18:30 ※休館日を除く)
主催:公益財団法人静岡県文化財団、静岡県 グランシップホームページからお申込みができます。
後援:静岡県教育委員会、静岡県高等学校吹奏楽連盟、静岡県私学協会